

# プロジェクトリーダー：瀬戸市議会事務局

## 事業実績調書

(1) プロジェクト名	届け!!!わたしたちの声・まちづくりの想い ～若者の政治参加を目指して～	
(2) プロジェクトの成果 (※そのような成果が得られたかについて具体的に記載)		
<p><b>【議会の目標と成果】</b></p> <p>① 「議会の見える化」を図り、議会の役割を若者に伝え政治への距離感を縮める。          →一連の活動の中で、学生と一緒にいったフィールドワーク等の中から出た学生の声を議会で取り上げることができた。          →学生へのインタビューやアンケートから政治への距離感が縮まったと感じた学生や今後の選挙の際の投票に前向きになった学生がいるなど、一定の成果があった。</p> <p>② 議会の機能強化・議員の資質向上          →市民から政策資源を受け、議員が政策提言を行うという政策サイクルを回していくイメージを今回の活動からもつことができた。</p> <p><b>【学生の目標と成果】</b></p> <p>① 「政治へ参加する」ということや「地域課題を自らの問題とする」ことを考える機会とする。          →選挙による政治参加だけでなく、自分たちの声を届ける方法を知り、今後の政治への興味を深めることができた。          →「わたしの考える住みたいまちせと」として、「住みたいまち」として重要と思われるテーマについて、研究し、現地調査するなど取り組むことで、自分たちのイメージを想像から具体化することができた。</p>		
(3) プロジェクト実施内容 (※事業の実施方法、時期、場所、回数、市民への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載)		
<p><b>5月22日(月)</b> 瀬戸市役所 本庁・大会議室</p>	<p><b>学生と議員のプロジェクト キックオフ勉強会</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>このプロジェクトの目標確認</li> <li>議会を知ろう！(議員説明)</li> <li>瀬戸を知ろう！(議員説明)</li> <li>わたしたちの考える「住みたいまちせと」</li> </ol> <p>※今後のスケジュールなどの確認。</p> <p>勉強会では、議員からのレクチャーを行った後、グループに分かれて質問をし、議会や瀬戸市について、学んだ。また、事後アンケートを行い、プロジェクトへの期待やもっと知りたいことなどを確認し、次回へつなげることとした。</p>	<div data-bbox="1070 1402 1422 1491" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             参加者：学生 43 名 議員 9 名         </div> 
<p><b>6月定例会中</b></p>	<p><b>議会の様子について、学生がYou Tubeで視聴</b> 「住みたいまちせと」のテーマについて考える。</p> <p>※議会の開催は平日の日中であるため、学生は議場での傍聴をすることができなかったため、You Tubeでの視聴を行った。</p>	

7月3日(月)

名古屋学院大学  
名古屋キャンパス

テーマ選定について、ゼミ活動に議員が参加し、アドバイスをを行う。

「住みたいまちせと」にかかるテーマを出し合い、6テーマに分かれて学生と議員で意見交換を行う。

参加者：学生 24 名  
議員 12 名



8月14日(月)～

瀬戸市内  
名古屋学院大学  
名古屋キャンパス

フィールドワーク

テーマを3つに絞り、各グループに分かれて調査を行う。(学生各6名程度)

「観光(情報)」8/24、8/29、9/7

「環境美化」8/28

「社会保障(子どもの貧困)」8/14、8/29、9/4



「観光(情報)」

→商店街、道の駅せとしなの、岩屋堂を歩き、地元の方の意見を聞くなど情報収集を行い、意見・提案をまとめた。

「環境美化」

→話し合いの中では、環境美化に係る「教育」や「ゴミ箱」設置に関する意見交換を行い、学生独自にも情報収集を行って意見・提案をまとめた。

「社会保障(子どもの貧困)」

→子ども関連の制度説明を市担当者から受け、「学習支援」や「子ども食堂」の現場を見学し、携わる方からの情報収集を行い、意見・提案をまとめた。

10月16日

名古屋学院大学  
名古屋キャンパス

10月30日に行われる「学生と議員の意見交換会」に向けて、各テーマのグループが提案をまとめるため集まり、議員は中間報告を聞きながらアドバイスをを行った。

調査先への交渉や日程調整など学生が行ったが、調整がつかず、現場見学が直前になるグループもあった。



10月30日

瀬戸市役所  
本庁・大会議室

『学生と議員の意見交換会』

→「わたしたちの考える住みたいまちせと」について

テーマごとに研究した内容と提案を学生が発表した。その発表を受けて、議員が学生の提案の意図を再確認するなどした後、意見交換を行った。

参加者：学生 18 名  
議員 17 名



→10/22に行われた衆議院議員選挙を題材として選挙について「投票には行ったか」「候補者をどのような観点で選ぶか」など、事前アンケートを学生に行い、意見交換をおこなった。

※アンケート結果は別添のとおり。

## 12月定例会

### 一般質問

10/30の学生の提案を受けて、7名の議員が一般質問を行った。

観光案内(パンフレットや案内サインの工夫)や子どもの貧困対策、観光ゴミなど、瀬戸市の現状を確認するとともに、学生の視点によるアイデアの紹介やアイデアを受けて議員が発展させて提案を行うなどされた。

※学生は一般質問の様子をYou Tubeで行った。

## 12月11日

名古屋学院大学  
名古屋キャンパス

### 議事を終えて意見交換

学生のアイデアをいかに一般質問の中で政策提言につなげていくか、議員の苦労話や学生の感想などを話し合った。

●学生のアンケートから ※詳細は別添のとおり

今回の一般質問を通して、自分の声が届いたと思うか。

→50%の学生が自分の声が「80%以上届いた」とした。

・疑問に思っていたことがしっかりと届いていたと強く感じた。

・議員と意見交換した内容が質問されており、議員が市のことを真剣に考え取り組んでいると感じた。

→「50%以下届いた、届かなかった」とした学生

・意見を伝えることはできたが、政治として実行することが困難と分かった。

・実現性がない

今回の一般質問を通して、政治に参加し、自分たちの意見が瀬戸市の政策に反映されると感じるか。

→75%の学生が「大いに感じた」「まあ感じた」とした。

・学生の案を真剣に聞いているなど思った。

・文中の中に「検討します」「努めます」が多かったため、反映されるかもとも感じたが、どうなるかわからないとも感じた。

※今回のプロジェクトについては、議会来訪者等に「若者の政治参加について」お伝えするため、市民の阪上さん・早川さんにお願ひし、活動全体を録画し、動画を作成した。



参加者：学生 10名  
議員 5名

## (4) プロジェクトの今後の課題と展望

今回のプロジェクトは、瀬戸市役所と名古屋学院大学にそれぞれ学生と議員が赴く形で行ったが、フィールドワークは、移動距離の問題もあり頻繁に行うことはできなかった。キックオフ勉強会や学生と議員の意見交換会などは、多くの学生と議員が参加し、短い時間の中で有意義な意見交換をすることができた。

今後は、選挙だけではない政治への声の届け方があることを、議会来訪者等に活動の動画を使い説明していくとともに、若者だけでなく、様々な層の方々の意見を政策資源として議会が政策に変え、市長に提案していくサイクルをまわしていくことが重要であるとする。こうした次へのイメージを持つことができた活動として、今プロジェクトは良い機会となった。